

## 令和7年2月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年2月分について、輸出額は「自動車」「半導体等製造装置」などが増加したことから、対前年同月比20.2%の増加となった。輸入額は「液化天然ガス」「自動車」などが減少したものの、「原粗油」「アルミニウム及び同合金」などが増加したことから、同3.9%の増加となった。  
その結果、差引額は8,736億円（同34.5%の増加）となった。

名古屋港における差引額が、過去最高を更新

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降165カ月（13年9カ月）連続全国港別（空港含む）第1位

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

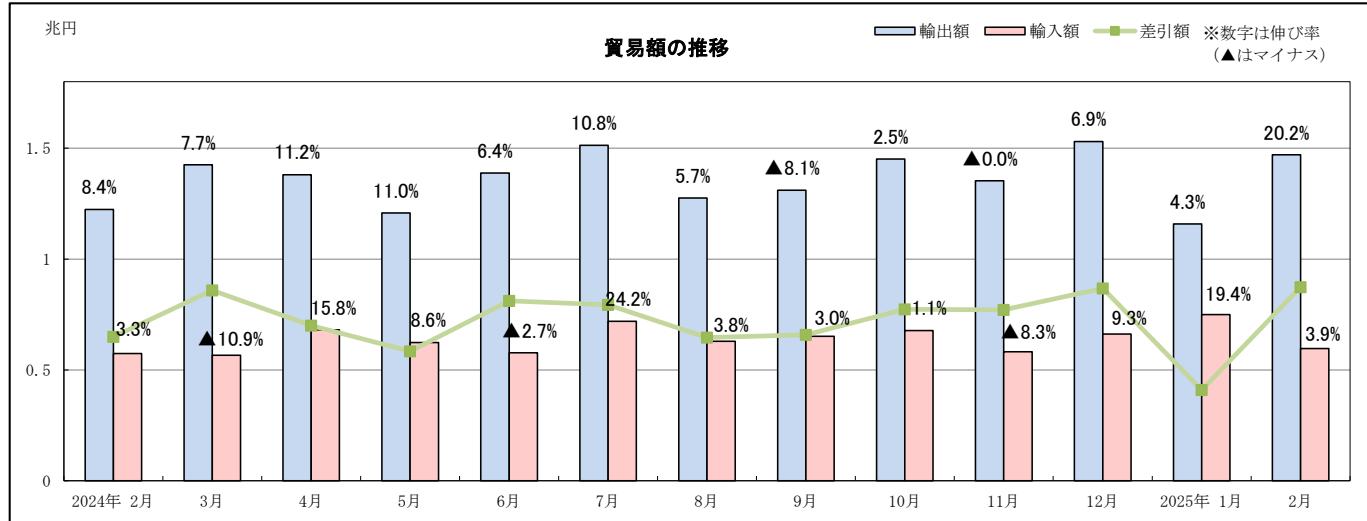
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

### ○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆4,699億円	+20.2%	5,963億円	+3.9%	★ 8,736億円	+34.5%
	3カ月連続の増加			3カ月連続の増加		
	順位 過去3位	2月として1位	順位 過去25位	2月として1位	順位 過去1位	2月として1位
管内（名港シェア）	2兆2,448億円 (65.5%)		1兆1,360億円 (52.5%)		1兆1,087億円 (—)	
全国（名港シェア）	9兆1,911億円 (16.0%)		8兆6,066億円 (6.9%)		5,845億円 (—)	

### ○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出増(1)	自動車	4,756億円	+43.3%	+11.7	5カ月連続の増加
	半導体等製造装置	★ 431億円	+209.9%	+2.4	11カ月連続の増加
輸入増(1)	原粗油	568億円	+118.3%	+5.4	2カ月ぶりの増加
	アルミニウム及び同合金	337億円	+29.9%	+1.4	4カ月連続の増加
輸入減(1)	液化天然ガス	441億円	▲31.8%	▲3.6	2カ月ぶりの減少
	自動車	37億円	▲68.3%	▲1.4	3カ月連続の減少



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。